基本理念
安心・安全で活気に満ちた十津川第二小学校

平成 31 年度(３年目)：**令和**元年度　　十津川村立十津川第二小学校

《学校教育目標》かしこく、明るく、たくましく、豊かに創造する子

児　童　**夢と志をもって努力する**

・意欲をもって遊ぶ・学ぶ・挑戦する
・自分で考え、進んで行動する
・自分と他の人を大切にする
・郷土を愛し、地域に貢献する

【人材育成の基本方針】
◎教職員一人一人の能力と意欲の向上を図り、学校を活気づける人材の育成

○　資質向上に努め、誰もがわかる授業をする教師
○　児童に寄り添い、心の変化に気づける教師
○　責任感があり、チームワークを大切にする教師
○　児童・学校・地域を愛し、誇りをもっている教師

児童と共に行動する教師

結束

安らぎがあり活気あふれる　**学　校**

・確かな学力の育成を目指す
・温かなふれあいと『息遣い』がある
・児童・保護者・地域から信頼される
・人々の安心・安全が守れる

自己評価・学校関係者評価を生かした人材育成の推進

学校運営協議会
学校評価委員会
保護者アンケート
児童アンケート
教師アンケート

↑

学校開放ウィーク
授業参観
家庭教育学級
学校行事・PTA 行事等

↑

学校評価計画表

↑

校内運営委員会
学校自己評価結果の共有

チームとしての学校

○分業から協働へ
・教材教具のライブラリーの構築
・十二小学びのスタンダード
・インクルーシブ教育の推進
・学校評価による課題の共有

○ベテランの指導力の活用
・若い教員への知識・技能の継承
・校務分掌の適正化(グループ化)

○報・連・相の徹底
・研究主題に迫る授業研究の充実
・研修会参加後の伝達・共有
・危機対応／緊張感のある対応
・食の安全／安心安全な給食提供

○関わり方のコツの意識
・ソーシャルスキルトレーニングの活用
・ほめ方のコツと叱り方のコツ

気づきから行動へ

○問題解決から課題解決へ
・夢や志を育む取組の充実
・児童に寄り添い、心の変化に気づく
・気になる子の情報共有と対応
・よさを認め、伸ばす指導

○管理職の授業観察による情報提供を気づきへ

○小中一貫教育の視点に立った高校、中学校や保育所との連携（十津川地域連携教育推進）
・将来のために高めておきたいスキルの育成

○地域行事への積極的な参加
・郷土芸能・文化への関わり

キャリア段階に応じた学び

・管理職の授業観察を継続的に行い、授業力の向上を図る
・情報の整理と活用能力の向上（ICT 教具・テレビ会議他）
・人事評価制度の活用
・採用試験等の受験者への支援（面接・論文指導等）
・年次研修会の参加支援
・へき地教育研究大会など同規模・同研究教科の研究会への参加奨励
・専門分野の積極的研修

職場の環境づくり

・ユニバーサルデザインの考え方で学びの環境を見直す
・心地よい職員室、安心できる人間関係づくり（良いところを認め合える言葉がけ）
・一方的な視点ではなく、違う角度から考え見つめ直す姿勢
・「愛着」の視点から児童や保護者と接する態度
・服務規律の確保
・レクリエーションや親睦会の随時開催
・ホームページの更新

開　　示（3 月）

↑

個人面談（2 月）

↑

最終自己申告評価

↑

授業観察

↑

中間報告・修正(11 月)

↑

授業観察

↑

個人面談（6 月）

学 校 運 営 協 議 会(校長・保護者・地域住民・教職員他)

初年度『**融合**』と『**新規**』　２年目『**定着**』**◎取組の定着と検証**
◎対等の立場　○新学校の創造　○反省を生かす。（良点→伸ばす、不良点→改善

３年目『**発展**』**◎改善による前進(地域の中の学校)**
○本校教育の課題を整理する。○克服に向けた協議と検証及び実践。

前年度の学校評価分析 → 学校経営計画（グランドデザイン） → 自己申告シートの作成

教職員一人一人が輝き、力を発揮できる職場環境づくり(ゆとりある職場・機能的合理的な職場・メンタルヘルスへの配慮）